

ヒト由来のプロテインキナーゼC ζ アイソザイム、再組換え

Cat. No. NATE-0625

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達経路によって細胞内で活性化されます。フォールポールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa²⁺およびホスホリピッドを必要とし、PKC α 、 β I、 β II、および γ が含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリピッド依存ですがCa²⁺非依存であり、PKC δ 、 ϵ 、 η 、および θ が含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォールポールエステルによって活性化されず、PKC ξ 、 μ 、および ι が含まれます。

別名 PRKCZ; プロテインキナーゼC、ゼータ; プロテインキナーゼCゼータ型; PKC2; PKC-ZETA; EC 2.7.1.37

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞
形態	緩衝水溶液; 20 mM HEPES、pH 7.5の溶液; 2 mM EDTA、2 mM EGTA、5 mM DTT、250 mM NaCl、0.05% Triton X-100、および50%グリセロール。
EC番号	EC 2.7.1.37
分子量	mol wt 76-80 kDa by SDS-PAGE
純度	> 75% (SDS-PAGE)
代謝経路	CDC42シグナル伝達イベント、特定の生物系; CXCR4媒介シグナル伝達イベント、特定の生物系; 心筋細胞におけるカルシウム調節、特定の生物系; セラミドシグナル伝達経路、特定の生物系; ケモカインシグナル伝達経路、特定の生物系; ケモカインシグナル伝達経路、保存された生物系; EGFR1シグナル伝達経路、特定の生物系
機能	ATP結合; インスリン受容体基質結合; 金属イオン結合; スクレオチド結合; タンパク質結合; プロテインキナーゼC活性; プロテインキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; 亜鉛イオン結合

保管・発送情報

保存方法 -70°C